

市政のここが聞きたい

3月定例会市議会は、3月6日、7日、10日の3日間にわたり13人の議員が一般質問を行いました。その質問の中から1人2質問まで要約して掲載しました。

なお、詳しい内容をお知りになりたい方は、市立図書館などで3月定例会市議会会議録（6月上旬発行予定）をご覧になるか、インターネットで検索してください。

《塩見 禎章》

総社市まちづくり基金条例について

問 合併後の地域振興や合併時のサービス低下に対する激変緩和措置として積み立てられたまちづくり基金を、コミュニティ活動等地域に任せられた活動、行政主導でない地域活動のほか、防犯灯の設置や維持管理費に活用できないか。

答 まちづくり基金は、合併後の自治体間のサービス格差を埋めるもの、望みがかなわない部分、まちづくりに資するものなどに積極的に使っていきたい。また、清音では自治活動補助金がなくなり、今後の地域活動が活性化できない問題点もあり、防犯、環境、防災、交通の事業に補助する自治組織活性化支援事業補助金も活用しながら、地域活動に資するものを考えていきたい。そのために事業の枠組みや地域取りといった線引きの明確化など、様々な補助制度の見直しを

広域的な職員派遣について

問 本市の若い有能な将来性を期待されている職員を、広く交流し体験させるため、近隣の市との間で協議し、1年あるいは2年ぐらい相互派遣できないか。

《頓宮 美津子》

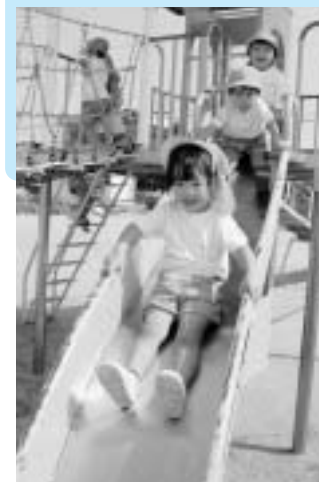
答 地域の声を代弁して国に発信していくためには、自立の根源となる職員のレベルアップが大事であり、まず自治大学の入校制度の復活等に踏み切った。近隣地域との人事交流は最も大事であり、これから岡山市や倉敷市にお願いし、交流ベースに乗せていこうと思う。国の役所などについても視野を広げて考えていきたい。（市長）

これから有識者などによる幼児教育研究委員会を立ち上げ、この問題に前向きに取り組んでいきたい。一元化できない弊害が待機児童になって表れていると思うので、子どもの被害を解消するため、柔軟な選択肢を追求していきたい。

（市長）

自主財源について

問 全国自治体では、ホームページのバナー広告、広報紙や各種印刷物の広告掲載等により自主財源の確保に成果をあげている。一定のガイドラインをもって、有料広告による自主財源の確保を考えてはどうか。



幼保一体化を進めている清音幼稚園

答 ①4歳、5歳児が教育と保育と一体化して事業成果をあげている清音幼稚園の例を参考にしながら、

答 広告料でわずかでも自主財源の上乗せができ、市民の幸福や地域主義、子育て等に充当できるのであれば、前向きに全力で考えていきたい。（市長）

◇ このほか、環境行政について質問しています。

《服部 剛司》

市長の政治姿勢について

問 就任に向けての気概と現時点での考え、思いと現実の差を予算上どのように配慮したか。

答 自立した市に変えていくことを念頭に、地域の痛み、辺地のさびしさ、光の当たらない部分への熱い思いがあり、地域主義、弱者対策、格差是正、子育て王国実現に向け、当初予算で上積みした。今も思いは変わっていないが、現実のものとすると、財政面でギャップがある。それを乗り越えて頑張ってい



各種式典のあり方が問われた

たい。国や県と連絡をもつて有利な起債や補助事業の獲得にも全力を傾けたい。（市長）

教育について

問 ①卒業式、成人式等各種式典は儀式であり、来賓あいさつを割愛してはいけないと思う。子どもに式典の考え方をどのように教えているか。
②いじめ対策等、学校嫌いの子どもへどのような教育をしているか。

答 ①儀式的行事は、厳粛な雰囲気を保ち、相互に祝い励まし喜びを分かち合うことで集団社会の一員

としての連帯感を育成する機会ととらえている。地域の多くの方に祝福してもらうために案内をしており、限られた時間で礼儀を失しない対応を指導していききたい。

②学校嫌いの子どもには教師による家庭訪問や電話連

《萱原 潤》

観光行政について

問 市の観光戦略を考えると、自然、歴史等地域固有の資源をフル活用して、その資源を損なうことのないよう適切な保護保全を図って観光を成立させる環境観光（エコツーリズム）が市にマッチしたものであると思うが、この考え方を柱に取り組んでいく考えはないか。

答 新年度から立ち上げる市の魅力を発信、発案、発信する観光審議会の中に、エコツーリズムの精神を中心と位置づけて推進していききたい。それには、まず市の観光能力を知った

上で市にあったスタイルの観光を考えていきたい。委員には、アルピニストとして環境で全国や世界に発信している方も迎え、市の環境と観光の両面からとらえて発信する考え方で観光のあり方を考えた。（市長）



棚田風景。環境と観光の両面から観光のあり方を検討する

教育行政について

問 住宅環境等の変化に伴う将来の児童・生徒数の予測も踏まえ、学校等の適正規模を安定的に確保して教育環境を整備充実するため、教育環境のマスタープランなど中長期的な視野から、対応策をどう考えているか。

答 子ども数のアンバランスを是正するため、地域の実情に基づき、通学区域の弾力化も視野に入れて、中長期的な見地から教育環境のあり方を検討したい。学校規模の大小に伴う教育環境のメリット、デメリットを検討する中で、学校の住環境、児童・生徒の推移、情勢の変化を見極